



今回の市民リポーターだよりは、化粧のフロにインタビュールし、秋田県人の肌について研究した今井リポーターと、犬をテーマにしたまちづくりについて取材した田中リポーターのお二人のリポートを紹介します。

秋田美人の磨きかた

リポーター 今井 由貴子(柄沢)

秋田美人の名が示すとおり、秋田の人は他県の人よりも肌のキメが細かく、色白だと言われている。その理由として、水がきれいなこと、おいしいお米が採れること、北国ゆえ日差しの強い夏が短いことなどが挙げられます。しかし近年、生活環境や食生活の変化(欧米化)、オゾン層の破壊による紫外線量の増大、ストレスの蓄積などにより、アレルギーをはじめとした皮膚トラブルを引き起こす要因が増えているように思います。そこで今回は、最近餅田にできた秋田県を中心に事業を展開している化粧品会社の三浦さんにお話を伺い、スキンケアについてアドバイスをいただきました。



三浦さん(左)と今井リポーター

キビなどがそれです。これは、ストレスの蓄積により皮膚の過酸化脂質が増えることが原因であるとされています。特に「紫外線の照射やエアコンによる屋内外の急激な温度差の影響を受ける夏は、肌にとって過酷な条件となる」のだそうです。また、最初に書いたように、秋田県人には透き通るような白い肌の人が多いのですが、それゆえ「毛細血管が目立ちやすく、

赤ら顔になりやすい」といった面も持っています。これらを防止するためには、「第一に刺激の強い化粧品の使用をやめ、気温の差から肌を守ること」が大切なのだそうです。それだけでもある程度トラブルを緩和できるということです。肌のトラブルにはシミ、シワ、ニキビなどがあるのですが、もしそれらが同時に現われている場合はどう対処するか。「こんな時はまずニキビを先に治さなければなりません。なぜなら、ニキビには他のトラブルとは全く逆の手入れをしなければならぬからです」と三浦さんは話します。シミやシワに対する手入れのように潤いを与えていたのでは逆効果ですから、同時進行はできない、というわけです。また、スキンケアに気を配るあまり「油分を含んだ化粧品を使い過ぎるのは、酸化してシミになるなど、肌にあまり良い影響をもたらさない」のだそうです。

若さを保つコツは、数多く市場にあふれている化粧品の中から消費者が正しい情報をキャッチし、自分にとって何が必要なのかを知ること、そして趣味を持って生活を楽しむ、健康を保つことだとはいえないでしょうか。

犬といっしょにまちづくり

リポーター 田中 伯 (大町2区)



「愛犬と私のそっくり写真コンテスト」ってご存じですか?

私は今回、全国へ向けて情報発信を続ける「ホワイトガーデン協会」の、石川会長にお話を伺いました。

ホワイトガーデン協会では、大館を全国にPRするため、そして人と犬が触れ合える街をつくるために、三年前の「ハチ公生誕七周年」を記念して前述のコンテストを開催しました。特別賞や参加賞として、JR大館駅前のハチ公銅像のレプリカや、大館の特産品を用いたのだそうで、それまで日本のどの県のごどこにあるのかさえ知らないかたが多かった大館の街を、「大館」といえば「忠犬ハチ公のふるさと」という具合に、全国的に知名度を高めるに至っています。

また石川さんは、「犬に優しい街は人間にとっても

暮らしやすい街だとはいえないでしょうか。犬と一緒に遊ぶことのできるゆとりがあれば人間もいきいきと生活できると思うんです」と笑顔で語ってくれました。このイベントには年々応募者が増え、昨年は全国三十五道府県から二百点以上もの応募があったのだそうです。ただ残念なことに、地元大館からの参加はあまり多いとはいえないとのことでした。

石川さんは、「将来は全世界から応募が来るように、そして、犬を通じて全世界へ『自然と人間が触れ合える街・大館』と情報発信できるようにしたい」と語ります。愛犬と一緒に写した、ちょっとした写真を応募することから「まちづくり」に参加してみたいかがでしょうか。今年は九月三十日まで受け付けているとのことでした。



石川会長(左)と田中リポーター

応募やお問い合わせは、〒017大館市宇中町16番地 日専連ビル3階 大館青年会議所内 ホワイトガーデン協会 へどうぞ。